守れ！市民の生命・財産

総務常任委員会

2月20日委員会を開催しました。

消防長以下担当課長から「消防団の活性化について」・「建物火災における到着遅延及びサイレン未吹鳴の調査結果とその対策について」それぞれ説明があり、全委員から質問・意見がありました。概要を報告します。

(1) 消防団の活性化について

Q 消防のホームページを見て、特に消防団員の人材の確保・育成が気になったが、どうか。

A 江田島市においても、団員確保は厳しい状況です。団員の口コミで加入してもらっています。

機能別団員制度は、大雨・台風・地震等の時だけ出動してもらう制度です。

Q 機能別団員制度は、本市も導入可能か。

A 検討しています。高齢化が進み、長時間の活動に対応ができないことが想定されます。

Q 非常勤消防団員の報酬ですが、団員年額26、000円は低い。団員報酬を上げて、幹部を下げるとか考えられないか。

A 報酬は条例で決まっております。消防団自らが、活性化検討委員会でつめたものを、団長から市長に報告し決定します。

Q サラリーマン（団員）は、昼間出動できないが把握されているか。

A アンケート調査の結果、団員の70％の把握はしています。そのうち約50％がサラリーマン団員です。全国では70％であり本市もその程度だと思います。勤務先が島内・島外の把握はしていません。

Q 本市の女性団員は5名だが、消防庁の考えとして、百万人中10万人です。まだ増やす必要があります。

A 今後増員したいと思っています。女性の視点は必要です。確保するよう努めます。

Q 市の職員を消防団員に採用できないか。

A 国は公務員を加入させるよう言っています。実際に加入しています。

しかし、市が災害対策本部を立ち上げると、そちらが主な任務となり消防団活動ができなくなります。

(2) 建物火災における到着遅延及びサイレン未吹鳴の調査結果とその対策について

Q 建物火災等の発生時、防災行政無線からサイレンが鳴らなかったと市民の声があるのは聞いていると思う。消防の役割は大きい。

防災行政無線の一本化はいくらかかりますか。

A 現状の1市4波の防災行政無線のままで、一元化すると600万円かかる見込です。

また防災行政無線を高機能指令センターに導入するには約2千200万円かかる見込です。なお、指令センターには隊員2名しか配置しておらず、手がとれません。

Q 合併した市町村はどこもこの問題があるのか。

A そうです。防災行政無線の1市1波の問題を解消するには多額の費用がかかります。国には近い将来1波にしますと届出をしております。

Q いつかはしなければいけない。取りあえず4波を消防本部に接続すれば放送の一元化は可能か。

A 可能です。

付帯意見

①方面隊をなくして総合的に考えられないか。

②活性化検討委員会の情報が下におりていない。

③今、防災行政無線を整備しても将来デジタル化されるので不用・無駄になると想定できるが、火事の時に市民は119番に電話します。2千万円かかっても正しく迅速に放送するために一元化すべきです。

▲林野火災防ぎょ消防大訓練

3月定例会 市政を問う 一般質問

12人

持ち時間 60分

人口流出の歯止めは

答 総合的な計画を推進

浜西 金満 議員

浜西 平成19年3月の江田島市総合計画では、平成26年には、2万7千人になる。7年後にマイナス3千人で、歯止めがきくのか。

市長 目標人口を達成するのは難しいが、本市の将来に夢が持てるように、恵まれた自然、人、都市との交流を最大限に活用しながら人口を減らさないように、総合計画に基づく具体的な施策を積極的に推進します。

浜西 江田島市が販売する分譲地が20区画残っているが、価格を下げるとか、分譲条件を緩和するとか考えていないのか。

総務部長 先に買った人との関連があるので、価格は下げられない。

浜西 市の分譲地も価格が下げられないなら、固定資産税を減額するとかできないか。

市長 減額するのは、難しいが、3年以内に建設しなければならないという条件を5年以内にするという条件緩和は、今後考えて行きたい。

浜西 自治会に補助金を払い、I・Jターン者の名簿表を作ってもらい販売促進に協力してもらったらどうか。

市長 補助金を出すのは、今の段階では難しい。

浜西 市長以下、議員、職員、住民の方も一緒になり江田島市の良さをアピールして、常に一人でも増やそう、一人でも減らさないというような、行政支援をみんなで考えて、実行していかなければならないと考える。

▲都市と地元住民の交流